

南山梨の魅力を 多くの人に伝えたい



下部ホテル 代表取締役

矢崎 道紀 氏

中部横断自動車道の南部エリアの全開通が地元観光に何をもたらすのか

また、それを迎える観光産業はどんな工夫をしているのか？
91年にわたり南山梨の魅力を見つめてきた下部ホテルの4代目社長矢崎氏に伺った

観光資源が豊富な峡南地域

下部温泉は平安時代から湯治場として栄え、戦国時代には武田信玄の隠し湯となり、徳川家康も入浴したと伝えられる由緒ある温泉郷です。1929年に造られた下部ホテルは太平洋戦争前後に休止期間があったものの、4代、91年の長きにわたりこの地と共に歩んで参りました。現在もお客様との接点を大切にしながら当館でしか味わうことのできない特別な時間を過

ごしていただくべく、日々努力いたしております。スタッフの手によって33年間1日も欠かさず続けて来た「信玄出陣太鼓ショーア」は当館の名物と言えるでしょう。

昨年度の実績は宿泊のお客様が約7万人、日帰りの方が約2万人ほど。居住地別に見ますと首都圏が半数、山梨県内で2割、中京のエリアで2割ほどです。比較的ご年配の方が中心でしたが若いお客様も増えてきました。

当地域の魅力は何といつても「富士川流域の里山の風景」です。同じ身延町内には日蓮宗の

總本山「身延山久遠寺」など歴史的な文化財がありますし、隣の早川町には世界最古の宿としてギネスに認定されている温泉宿も現存しています。何よりも南アルプスの自然環境そのものが「自然と人間社会の共生」を謳うユネスコエコパークとしての認定、登録を受けています。ただ残念ながらこれら魅力的な観光地が「点」として散らばってしまっており、同じ域内でありながら相互にアクセスしづらいことが大きな課題となっています。

ピンチをチャンスに変える

これまで静岡の東名道エリアや県北の中央道エリアから下部温泉までは1時間ほどの時間を要していました。そこから仮に早川町に向かうとなるとさらに追加で1時間必要でした。でも中部横断道が開通して当地までの時間が短縮されると近隣の観光地にお客様が立ち寄ることも現実的になつて来るのです。

とはいえる、我々が属する峡南エリアは観光地としてはまだまだマイナーです。魅力的な観光地が点在していてもそれらを周遊の旅として結びつけるストーリーがありません。というわけでこの峡南五町（身延町、南部町、富士川町、市川三郷町、早川町）の観光・宿泊・飲食を中心とした仲間でチームを組み、隣接する地域の

観光拠点を繋ぐ道路

とても重要で役に立つてくれるのがSNSです。峡南エリアは比較的年配のお客様が多いのですが、SNSは若い方の目に触れる機会を効果的に増やしてくれます。双方向で情報交換できますし、時には情報を拡散してくれることもあります。発信する側と受ける側の距離感の近さによって生まれるコラボレーションとでも申しますか、現在はそういう情報伝達のあり方にも着目しています。

最近、館内に手作りの大型観光マップを作成しました。当館の入り口の一番目立つところに設置してあります。スタッフが実際に訪れて綺麗だな、楽しいな、美味しいな、と感じた観光地や飲食店を自分の言葉で紹介している点です。スタッフもこのエリアにゆかりのある人材が多く、私が想定した以上に沢山南山梨の観光資源を磨き、魅力的なものを組み合わせながら、多くの方に知つていただけるよう発信していきます。そして今はコロナ禍によつてまさに近場のマイクロツーリングが注目されるようになって来ていますから、2時間圏内で気軽に行ける身近なエリアの、普段なかなか気付かない魅力再発見となるようなプランをご提案して行こうと考えております。



設置してあるのですが、ポイントはスタッフが実際に訪れて綺麗だな、楽しいな、美味しいな、秀な人材を確保することが可能になるかも知れません。いずれにせよ、これまで順次開通した県北の区間や下部温泉早川ICの完成により、セスが向上して勤務しやすくなりますし、ホテルにとつても雇用地域の拡大によつてさらに優秀な人材を確保することが可能になるかも知れません。中央道の双葉JCT経由でいらっしゃるお客様が着実に増えて参りました。そして今後南側区間が全線開通すると、東名沿線エリアからのアクセスも劇的に改善され、静岡からはもちろん名古屋近辺のお客様も確実に増えて行くことが予想されます。本当に1日も早い全線開通を中心にお待ちしております。

道路整備効果

農産品の海外輸出支援

- 山梨の主要農産品であるモモ・ブドウ等の青果物の海外への輸出は、山梨県知事のトップセールスをはじめとした海外への山梨ブランドのアピールを積極的に取り組み、増加傾向。
- 中部横断自動車道の整備により、山梨県から国際拠点港湾までの輸送時間が最大約80分短縮。（【整備前】東京港・横浜港：約180分、清水港：約160分 ⇒ 【整備後】清水港：約100分）
- 清水港では農水産物の輸出促進に向け、リーファーコンテナ電源供給設備等の整備を実施。
- 中部横断自動車道の整備、清水港の取り組みの相乗効果により、海外輸出をさらに促進。

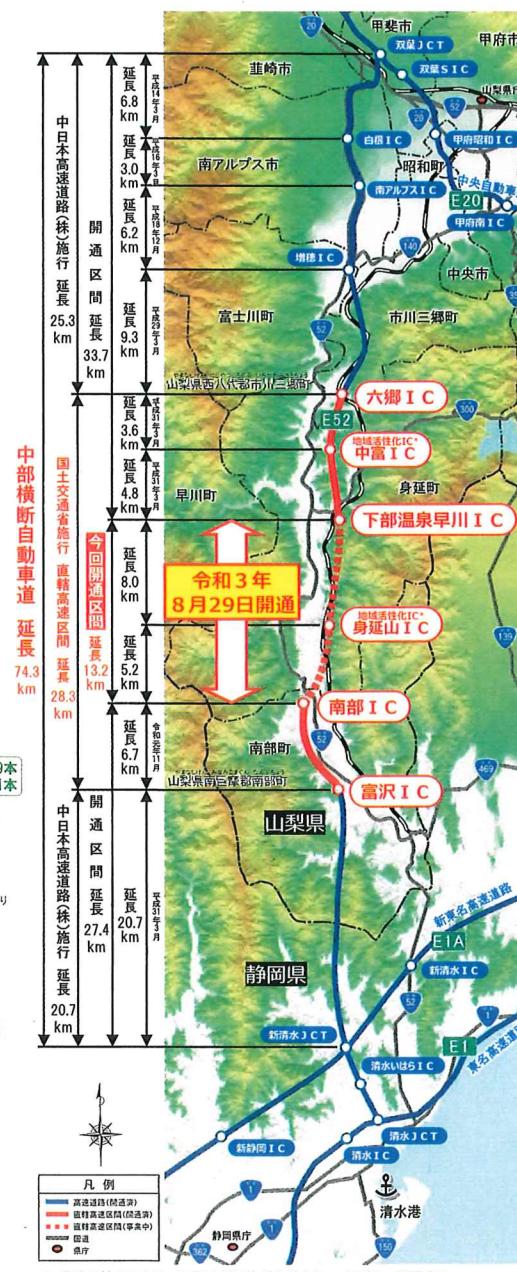


中部横断自動車道（富沢～六郷）の概要

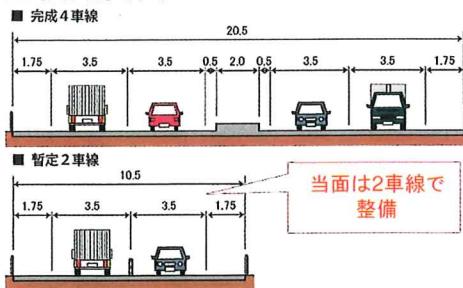
■計画概要

■路線名	中部横断自動車道（富沢～六郷）
■区間	自) 山梨県南巨摩郡南部町 至) 山梨県西八代郡市川三郷町
■延長	28.3km
■車線名	4車線（当面2車線で整備）
■構造規格	第1種3級
■設計速度	80km/h
■幅員	20.5m（当面10.5mで整備）

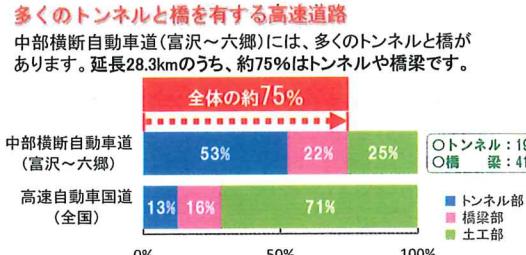
■路線図



■横断面図

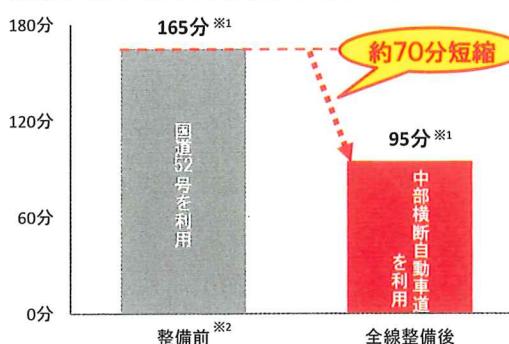


■構造物の割合



■移動時間(山梨県庁～静岡県庁)

山梨県から静岡県までの移動時間が短縮されます。



道路整備効果

富士山を囲む広域周遊観光ルートの形成

- 中部横断自動車道の全線開通により、富士山を囲む高規格道路ネットワークが形成。
 - これにより、富士山を囲む新たな広域周遊観光ルートが形成され、首都圏・中京圏からの国内観光や富士山静岡空港・清水港を玄関口としたインバウンド観光をはじめとする山梨・静岡両県における観光の活性化が期待される。



中部横断自動車道沿線への新たな企業立地

- 中部横断自動車道の沿線では、高速道路への良好なアクセス性から、既に新たな企業立地が進展。地域の雇用創出に貢献。
 - 山梨～静岡間の全線開通により、更なる企業立地の進展、それによる地域の雇用創出、地域の産業振興への貢献が期待される。

